

## 4

## まちづくりの推進に向けて

まちづくりの推進については、次のような考え方で取り組みます。

### (1) 住民が主体となったまちづくり

#### ① 住民をまちづくりの主体に据える

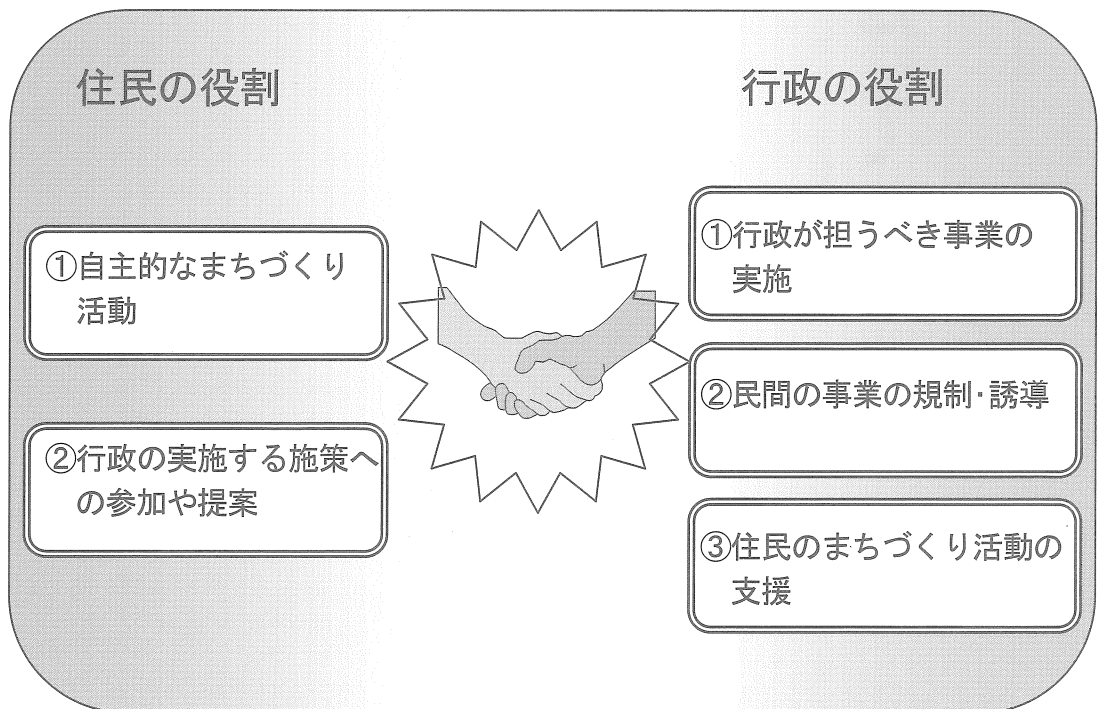
まちづくりの主体は住民です。地域の問題を自ら解決する問題解決力の育成がまちづくりの基本です。この地区ではこれまでもさまざまな住民の活動が展開されてきました。こうした地域住民のまちづくり活動を中心に据えて、このプランの具体化を図っていきます。

#### ② 住民と行政の役割を認識して協働する

地区プランの策定にあたっては、住民と行政がともに話し合いながらまとめてきました。今後も住民と行政が力を合わせて実現のために努力することが大切です。住民と行政には、それぞれの役割があります。

住民の役割としては、①自主的なまちづくり活動、②行政の実施する施策への参加や提案などが考えられます。一方行政の役割としては、①行政が担うべき事業の実施、②民間の事業の規制・誘導、③住民のまちづくり活動の支援などが挙げられます。

こうした役割分担を認識しながら、ともにプランの実現に取り組むことが求められます。



## 4

## まちづくりへの推進に当たって

## ③ パートナーシップの経験を積み重ねる

これまでとすれば行政の対応は部門別の視点から事業を行うことが多くありました。これからは、地域を基礎に置いて、部門間の事業を複合化・総合化して進めるパートナーシップが必要です。プランを実現する過程で、住民と行政が、話し合いを重ねて合意を形成し、住民主体の観点から、パートナーシップの経験をひとつひとつ積み重ねて地域のまちづくりの力を形成することが必要です。

## ④ 息長く取り組む

まちづくりには、時間がかかります。息の長い取り組みが必要です。地域の将来像を実現するために、時間をかけてひとつひとつの困難を乗り越えていく長期的な視点が必要です。

## (2) プランを柔軟に見直す

まちは時代に対応して変化していきます。まちづくりのプランも変化を求められるときがあります。まちをめぐる社会・経済や住民の価値観の変化などに対応して、計画を柔軟に見直すことも必要です。見直す際には、このプランを作成した時と同様に、区民と行政がともに協力して作業を進めます。